

「出題の意図」

選抜区分	2020（令和2）年度（選抜区分：推薦選抜） 国際環境工学部 機械システム工学科（科目名：総合問題・面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p>【総合問題】</p> <p>第1問（数学） ＜出題の意図・ねらい＞ 高校数学の学習事項を全般的に確認する基礎的な問題を出題した。</p> <p>問1 最大公約数・最小公倍数に関する基礎的な知識を確認する問題とした。</p> <p>問2 確率に関する基本的な知識を確認する問題とした。</p> <p>問3 循環小数について基本的な知識を確認する問題とした。</p> <p>問4 整数に関する基本的な知識を確認する問題とした。</p> <p>問5 三角関数に関する基本的な知識を確認する問題とした</p> <p>＜答案の特徴と傾向＞ 全体的に正答率が低く、全問正解者は一部であった。</p> <p>第2問（数学） ＜出題の意図・ねらい＞ 微分・積分に関する基礎的な力・応用する力を問う設問とした。具体的には、三次関数を題材に、微分を用い、接線を求める問題とした。また、曲線・直線によって定められる図形の面積を定積分によって求める応用力を確認する問題とした。</p> <p>＜答案の特徴と傾向＞ 問1については概ねの受験者が正答であった。問2、3については正答率が低かった。</p> <p>第3問（物理） 物理について、出題の意図は公表しておりません。</p>

【面接】

推薦入試では、入学意欲が強く、学業成績、人物とも優れた学生を求めている。これに基づき、本学科を志望する動機、高校時代に勉強以外で取り組んだこと、得意科目・不得意科目、環境問題や機械工学に関連する事項、将来の進路などについて質問し、機械工学への学習意欲、学科についての理解度、学科への適合性などを確認するとともに、コミュニケーション能力も評価した。